

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	江東区亀戸6-11-5 アーバンフロイデ1階
施設名	ten kids亀戸南園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

表現～乳幼児期に必要な身体の育ち～

〈テーマの設定理由〉

先生の歌や音楽を聞くと体を揺らしたり手足を動かす姿があり子どもたちが思いっきり全身を使いながら脳と神経にアプローチした体操を作り子どもたちのしなやかな身体づくり、生きるために必要な筋肉を育て、「静」「動」を取り入れながら感情のコントロールのため本テーマを設定します。

2 活動スケジュール

【期間】

・令和7年4月～令和8年3月<0-2歳児19名>

12月:2回 1月:2回 2月:2回 3月:2回

子どもたちがいろいろな音に触れる時間づくり、子どもたちの様々な動きの観察。職員と講師（外部委託）によるオリジナルの楽曲作成と子どもの発達に沿った体操づくりと子どもたちの健やかな育ちをサポート開始。楽曲作・体操の作成開始。

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

- ・オリジナル楽曲及びオリジナル体操作成、保育士への外部委託講師による指導の実施
- ・一人一人が自由に体を動かせるスペース
- ・音楽を流すスピーカー

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

- ・ただの運動ではなく5歳までに大きく育つ神経系の発達を促し、生きるために必要な筋肉を育て、「静」「動」を取り入れながら感情のコントロールができるようにする。
- ・「動」の活動…講師の先生や保育者の動きをよく見て、同じように体を動かしていた。
- ・「静」の活動…静かな音楽が流れている間は保育者と一緒に落ち着いて横になり、目を閉じていた。
- ・体操…振りを覚え、歌を口ずさみながら楽しんでいた。音楽に合わせて体を動かすことを喜んでいて、回数を重ねるごとに振りを覚え、子ども達が率先して楽しむ。

〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

- ・慣れないうちは様子をうかがっていた園児も、回数を重ねていく中で積極的に体を動かしたり、講師の先生に質問するなど活動に意欲的になった。
- ・体操のサビの動きを楽しんで、他の動きより一段と激しく動いたり、楽しそうな声を上げながら動いたりしていた。
- ・ジャンプや片足立ちなど「できるよ!」「〇〇君はできる?」など会話をしながら楽しんでいた。
- ・保育者や子ども達同士で「一緒にやろう!」と自発的に体操を始めたりした。
- ・保育者や友達と手をつないでリトミックを楽しんでいた。
- ・静と動の活動をしっかりと切り替えて参加できるようになった。
- ・集中して取り組んでいた。
- ・両手を広げて、片足をあげるポーズをとると「かかしてみたい〜!」と声を出して表現する。
- ・「静」の時間では、目を閉じて、音楽を聴いていると「きもちいいね〜」「安心できるね〜」と言葉で表現する。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・「こんな動きができた」「集中して話を聞けた」など、今までの活動では気付くことができなかった子どもの潜在的な能力を沢山見付けることができた。
- ・「体操の時間」を楽しみにしており、毎日「今日は体操の日?」と保育者に聞くようになった。
- ・子ども達だけで「体操ごっこ」を始めたり、家で子どもが先生になって保護者にやってみせたりと、積極的に楽しそうに続けている。
- ・普段の保育でも静と動の時間を取り入れると、保育にメリハリがついた。
- ・子どもの興味関心に目を向けて、引き続き学んでいきたい。